

令和6年度 高知県道路利用者会議 高知県要望活動

令和6年12月3日(火)に高知県道路利用者会議(会長：森本 敬一)が、国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所・土佐国道事務所及び西日本高速道路株式会社(NEXCO西日本)高知高速道路事務所に対して、四国8の字ネットワークの整備促進や直轄国道の渋滞対策について要望を行いました。

■要望項目

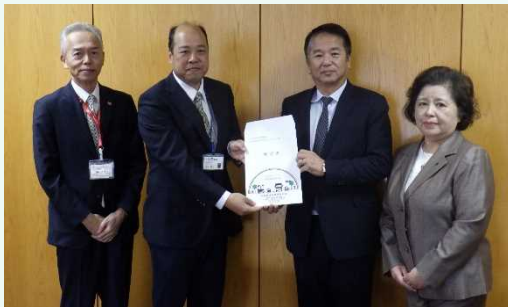
- ①四国8の字ネットワークの整備促進
・事業中区間の早期開通
- ②暫定2車線区間の4車線化の早期実現(高知IC～須崎東IC間)
- ③国道33号(伊野インター口交差点)の渋滞対策

※NEXCO西日本へは②を要望

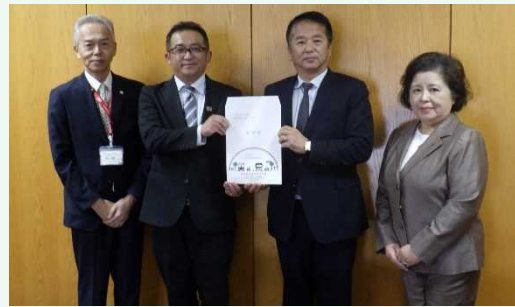
■国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所・土佐国道事務所への要望

【提言概要】

- ・8の字ネットワークは大規模災害時に「命の道」となる重要な道路。
- ・道路は繋がってこそ効果が発揮されるため、8の字ネットワークの早期開通をお願いします。
- ・国道33号の伊野インター口交差点において、既に渋滞対策をいただいているが、なお、平日の朝には渋滞が発生しているため、さらなる渋滞対策をお願いします。



▲左から、樋口副会長、山本中村河川国道事務所副所長、森本会長、山本副会長



▲左から、樋口副会長、森山土佐国道事務所長、森本会長、山本副会長

【回答】

- ・南国安芸道路(高知龍馬空港～香南のいち)については、令和7年春頃開通予定。
- ・その他の箇所についても、早期開通できるよう努力して参る。
- ・伊野インター交差点は、これまでの対策により、渋滞長は減少している。残存する渋滞については、モニタリングを継続し、警察やいの町とも連携しながら、整備方針を総合的に判断する。

■NEXCO西日本 高知高速道路事務所への要望



▲左から、山本副会長、立石高知高速道路事務所長、森本会長、西村常任理事

【提言概要】

●提言項目の説明等

- ・8の字は、地域防災力・経済活動を支える社会基盤。
- ・能登半島地震でも、道路の被災により救命活動等に支障を来した。
- ・南海トラフ地震時には、緊急輸送道路としての重要な機能を持つ。
- ・2車線区間での事故は、数時間の通行止めを伴う。
- ・大規模災害時の早期の交通機能回復のためにも、4車線化は必要。

【回答】

- ・利用者の安全・安心の確保や大規模災害時の備えとしても、4車線化は重要と認識。
- ・4車線化の実現に向けて、利用者の声は重要であり、引き続き声を挙げていただきたい。